

日本鉱物科学会 平成22年度第3回 定例評議員会議事録

日時：平成23年9月8日（木）17:30～20:30

会場：茨城大学人文学部講義棟1階14番教室

出席：

評議員会

会長：大谷栄治

副会長：村上 隆

評議員：赤井純治， 榎並正樹， 土山 明， 富樫茂子，
 坂本尚義， 上原誠一郎， 大和田正明， 川本竜彦，
 中牟田義博， 浜本拓志， 宮脇律郎， 柳沢教雄，
 阿部なつ江， 井上 徹， 黒澤正紀， 高沢栄一，
 留岡和重， 永井隆哉， 長瀬敏郎， 中村美千彦

委任状：入船徹男， 工藤康弘， 廣井美邦， 吉田武義， 貴治康夫

庶務幹事：小山内康人

会員幹事：阿部なつ江

会計幹事：中村美千彦

行事幹事：大和田正明

和文誌編集幹事：赤坂正秀

英文誌編集幹事：榎並正樹

広報幹事：柳澤教雄

渉外幹事：井上 徹

特務幹事（会則・内規検討委員会委員長）：土山 明

特務幹事（会員減少対策担当）：平島崇男

会計監査委員：長瀬敏郎

三鉱連絡委員：小山内康人・大和田正明

選挙管理委員会委員：安東淳一

地球惑星科学連合2011年度学会選出プログラム委員：
 角替敏昭（正）・長瀬敏郎（副）

地惑連合連絡担当：大谷栄治、黒澤正紀

行事委員会委員長：大和田正明幹事

GKK編集委員会委員長：赤坂正秀幹事

JMPS編集委員会委員長：榎並正樹幹事

広報委員会委員長：柳澤教雄幹事

渉外委員会委員長：井上 徹幹事

日本鉱物科学会普及教育委員会 委員長：黒澤正紀

新鉱物・命名・分類委員会委員長：宮脇律郎

将来企画委員会委員長：村上 隆副会長

議事に先立ち、書記として長瀬敏郎評議員が選出され、満場一致で承認された。

I. 報告事項

1. 会員報告（阿部会員幹事）

平成22年度第2回評議員会以降の会員動静について報告があった。退会者15名（一般正会員12名，学生正会員3名）であった。

2. 広報報告（柳澤広報幹事）

- ・日本地質学会と合同で、年会のプレスリリースを作成し、8/31に茨城県庁で記者会見を実施した。また、学会受賞者のポスター掲示も地質学会と合同で実施している。
- ・ホームページに関しては、特設ページの開設、HP移転準備作業、デザイン変更準備作業を行っている。なお、来年4月から、HPは現在の学術情報センターから、Nifty Serveに完全移転する。
- ・会員へのML送信を32回実施した。内容は、学会事務連絡、公募案内、関連学会案内など。

3. 渉外報告（井上渉外幹事）

総会にてモンゴル資源地質学会との学術交流協定を締結することとなり、モンゴル資源地質学会よりBat Erdene会長および

Jargalan Sereenen氏を招聘した。協定内容は学会誌に掲載することとなった。

4. 和文誌（GKK）編集報告（赤坂GKK編集幹事）

9月8日現在、40巻4号（7月号）まで発行済み。40巻5号（9月号）は短報1編，資料1編を掲載予定。現在の投稿論文は6編。岩石鉱物科学39巻5号（9月）～40巻4号（7月）の掲載件数と頁数は次ぎの通り。原著論文3件 39p，短報1件 3p，総説6件76p，資料・解説4件35p，新刊紹介9件 5p，ニュース（他学会案内，教官公募等）1p，学会記事（評議員会・総会議事録，連合ニュース等）33p，2011年会案内・プログラム 41p，追悼文2件，2p，総目次 2p，広告12件 10p，白頁 1p，合計248頁。現時点で，編集委員会ではページチャージ制などが議論されている。

5. 英文誌（JMPS）編集報告（榎並JMPS編集幹事）

9月8日現在、106巻4号（8月号）まで発行済み。5号（10月号）は原著論文3編，連合Letter 1編を掲載予定。9月2日現在査読中論文18編。2011年年会での講演を対象にLetterの投稿を募集中。JMPS105巻5号（10月）～106巻4号（8月）の掲載件数と頁数は6号分で次ぎの通り。Reviews 1件12p，Article 17件 180p，Letter 22件130p，Min. Abst. 115件 22p，Editorial 1p，Errata 1件1p，投稿規定3p，Index 4p，Contents 4p，白頁1p，合計358頁。Jstage-3（Editorial Manager）へ移行し，メール投稿は中止，投稿，査読は全てオンライン化した。編集委員の交代のための推薦をお願いすることとなった。

6. 行事・年会報告（大和田行事幹事）

日本鉱物科学会2011年年会・総会は2011年9月9日（金）～11日（日）の間、茨城大学で日本地質学会との合同学術大会として行われていること、日本地球惑星科学連合2012年大会は2012年5月20日（日）～25日（金）の間、幕張メッセ国際会議場で行われること、日本鉱物科学会2012年年会・総会は2011年9月19日（水）～21日（金）に京都大学において開催される予定である。2013年度年会・総会は新評議員会での審議事項となった。また2011年ポスター発表優秀賞審査についての依頼があった。

7. 庶務報告（小山内庶務幹事）

平成21年度第2回評議員会以降のメールの発信には評議員会関連事項8件，会員への意見聴取1件があった。2012年連合大会プログラム委員を選出し提出した。後援・共催・協賛事項9件について報告があった。

8. 会長・評議員選挙報告（安東選挙管理委員）

平成23年度会長・評議員選挙結果について、次のような報告があった。

評議員任期3年：

奥山康子，小澤一仁，大藤弘明，小山内康人，鍵 裕之，
 佐藤 努，伴 雅雄，平島崇男，宮島 宏，森下知晃
（以上五十音順）

<次点>富岡尚敬

投票用紙発送日：平成23年6月30日

投票用紙発送数：960通（海外13通含む）

投票必着締切日：平成23年7月31日

開票集計日：平成23年8月6日

総投票数：367 票（有効投票367票 無効投票0票）

正会員立会い：大川真紀雄

9. 会則・内規改正文案の答申（土山会則・内規検討委員会委員長）

評議員会から諮問されたシニア会員制定，会長・副会長選出変更や会費の改定など新規事業に関連する変更について当委員会でも審議した結果，会則・内規などの改正が必要であるとの答申があった。

1 0. 教育普及委員会報告 (黒澤委員長)

前年度からの継続事項となっている、文部科学省募集の平成24年度「一家に一枚」ポスター制作企画に、本年度は、教育普及委員会として応募した。原案は、「鉱物—地球と宇宙の宝物—」と題し、地球内部と太陽系で重要な鉱物を美しい写真と短い説明を付けて地球内部のイラスト上に配置し、一般市民に鉱物の魅力と不思議を伝える内容のポスターとした。応募締め切りは9月1日で、9月13日に企画審査が文科省で行われ、採択されれば10月ごろから製作に入る予定。製作の際には鉱物科学会会員にも写真提供やイラスト案の作成などで協力をお願いする予定。

1 1. 三鉱連絡会報告 (大和田委員)

メール会議にて名簿の改訂を5年毎に変更することを検討している。

1 2. 地惑連合報告(大谷会長)

来期の理事の選出並びに選挙についての報告。AIGS2012年開催候補地として札幌を出していたが、選出されなかった。2013年度候補地として再度挙手する。

1 3. 学術会議報告 (大谷連携委員)

22期のメンバーは決定しているとの報告。

II. 承認事項

1. 会員承認 (阿部会員幹事)

以下の正会員10名、学生正会員27名の入会申込書が回覧され、入会が承認された。また、永年会員への移行4名(鹿野新平, 坂巻幸雄, 柴田 賢, 下坂康哉)が承認された。除名対象者12名のうち4名は再確認することとし、議決により8名が除名となった。転居先不明者が3名あった。

入会の承認 合計 27 名 (入会申込み書別添え)

<一般正会員 10 名>

氏名	勤務先名
Tahmineh Pirnia	金沢大学理工研究域自然システム学系
衛藤 正行	株式会社テクノコンサルタント
太田 亨	早稲田大学教育学部
加々島 慎一	山形大学理学部地球環境学科
坂口 勲	物質・材料研究機構
清水 博史	株式会社ニチカ
中村 仁美	東京工業大学大学院理工学研究科
平間 敏之	
藤森 博昭	三栄製菓株式会社
毛受 卓	株式会社東芝

<学生正会員 27 名>

学生会員	在学先名	学年(申込時)	指導教官
Otgonkhuu Javkhean	島根大学大学院総合理工学	修2	高須 晃
荒砂 茜	金沢大学自然科学研究科	博1	奥野正幸
稲村 征之	金沢大学自然科学研究科	修1	森下知晃
五十公野裕也	山形大学院理工学研究科	修1	中島和夫
加藤 涼介	山形大学理工学研究科地	修1	加々島慎一
金子 詳平	東北大学大学院地学専攻	修1	大谷栄治
狩野 正裕	岡山大学自然科学研究科	博1	山川純次
上村謙一郎	京都大学院理学研究科	修1	平島崇男
菅崎良貴	東京大学大学院理学系研究科	博1	村上 隆
國枝 拓司	愛媛大学理学部地球科学科	6	回生皆川鉄雄
櫻井 萌	東工大・大学院理工学研究科	修1	高橋栄一
孫 羽	千葉大学大学院理学研究科	博2	廣井美邦
高橋 宏文	山形大学大学院理工学研究科	修1	中島和夫
高橋 俊仁	山形大学大学院地球環境学専攻	修2	中島和夫
辻野 典秀	東工大・大学院理工学研究科	博3	高橋栄一
土井 菜保子	九州大学大学院理学府	博2	久保友明
中谷 貴之	東北大学大学院理学研究科	博1	中村美千彦
福本 辰巳	愛媛大学大学院理工学研究科	修1	皆川鉄雄

福地 伸章	北海道大学大学院理学院	博2	松枝大治
外圍 雄一	横国大・大学院環境情報学府	修2	石川正弘
干川 智弘	金沢大学大学院自然科学研究科	博1	荒井章司
松山 寛	大阪市立大学大学院理学研究科	博2	篠田圭司
三好 茜	京都大学大学院人間環境学研	修1	小木曾哲
森本 雄介	東北大学大学院理学研究科	修2	石橋 明
山田 翔輝	新潟大学大学院自然科学研究科	博2	赤井純治
横尾 直樹	東京大学大学院理学系研究科	博2	小暮敏博
渡邊 正和	名古屋大学大学院環境学研究科	博2	加藤大典

平成22年度第2回評議員会以降上記承認後の平成23年9月8日現時点での会員数は970名(一般正会員836名, 学生正会員88名, 永年会員39名, 名誉会員7名)となり、賛助会員、講読会員を含む団体登録は181件、総数は1,151件である。

2. 平成22年度会計決算報告・承認 (中村会計幹事)

日本鉱物科学会平成22年度会計決算報告および日本鉱物科学会平成22年度特別会計決算報告が行われ、質疑・応答の後、承認された。

- (1) 日本鉱物科学会平成22年度会計決算報告 (後頁表1)
- (2) 日本鉱物科学会平成22年度特別会計決算報告 (後頁表2)

3. 平成22年度会計監査報告・承認 (伴会計監査委員)

平成22年度会計監査が平成23年9月5日に伴・長瀬両会計監事により行われ、帳簿類、会計内容とも問題ないと確認された旨が報告され、質疑の後、承認された。

4. 総会議題案 (小山内庶務幹事)

平成22年度総会次第案が提示され、質疑の後、承認された。

総会次第

一、開会

一、議長選出：平島会員(司会：会長挨拶)、定足数の確認

一、物故会員への黙祷

一、報告及び承認事項

1. 平成22年度事業報告(会員、広報、渉外、編集、行事、庶務など)
2. 平成22年度会計決算報告と承認
3. 会計監査報告
4. 平成23年度評議員選挙結果報告
5. その他

一、審議事項

1. 平成23年度事業計画
学会の財政と事業について
2. 平成23年度予算について
3. 会則改正、選挙内規改正について
4. その他

一、日本鉱物科学会賞授与

一、渡邊萬次郎賞授与

一、日本鉱物科学会論文賞授与

一、日本鉱物科学会研究奨励賞授与

一、日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与

一、日本鉱物科学会ポスター発表最優秀賞授与

一、日本鉱物科学会ポスター発表優秀賞授与

一、モンゴル資源地質学会との調印式

III. 審議事項

1. 会長・副会長の選出について

会長・副会長の選出方法について審議した。会長候補1名以

上、副会長候補を2名以上とし、また、会長候補者推薦委員会の内規を作成することで、推薦における透明性を図ることとした。

2. 学会の財政と事業について

科研費による補助がなくなったことを踏まえ、学会の財政運用について審議した。審議内容の主な課題としては (1) 学会予算の科研費補助金なくなったことによる減収、(2) エレメントへの参入、(3) シニア会員制の導入、について審議した。また、中村会計幹事より提案された、いくつかの予算案を検討し議論した。その結果、エレメント購読やシニア会員制などを導入することで魅力ある学会に向けての努力をしつつ、科研費の打ち切りについては出版費を節約するなどの対策を講じて、予算を組み総会に提案することとした。

3. 平成23年度会計予算案について（中村会計幹事）

学会財政に関する審議の後、学会費の変更などについて議論し、日本鉱物科学会平成23年度一般会計予算案を審議、承認された。また、平成23年度特別会計予算案が提示され審議の結果承認された。

(1) 日本鉱物科学会平成23年度一般会計予算（後頁表3）

(2) 日本鉱物科学会平成23年度特別会計予算（後頁表4）

4. 会則・内規などの改正について

（土山会則・内規検討委員会委員長）

会長・副会長の選出ならびにシニア会員制の導入、電子ジャーナル化に伴う冊子版との区別、年会費の改定、博物館委員会設置などともなう会則ならびに選挙内規、各種委員会内規の改正案が提示されこれを承認し、総会へ提案することとなった。（改正会則などは後頁）